特集 あらゆる女性が生きやすい社会に向けて

6～7面 神戸YWCA100年のあゆみ

The Young Women's Christian Association
YWCA

4
APRIL 2021
No.761

www.ywca.or.jp

〈第33総会期主題聖句〉
平和を実現する人々は幸いである
―マタイによる福音書5章9節―

〈ビジョン〉
女性がリーダーシップを発揮し、
人権・平和・環境を大切にする社会

〈ミッション〉
若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。

〈バリュー〉
キリスト教基盤　平和・環境　人権　セーフスペース

北京会議から25年 そして未来へ

ジェンダー平等と女性のエンパワメントを実現しよう

We've come a long way,
but we still have a long way to go.

ジェンダーに基づく差別や性暴力の撤廃を求める気運が高まっています。「女性の権利は人権」こんな当たり前のことが国際レベルで宣言されたのは、たった25年前のこと。1995年に開催された第4回世界女性会議（通称：北京会議）の席でした。そのために各国政府やNGOが取るべき行動指針を示した「北京行動綱領」が採択され、ここから国際社会は「ジェンダー平等と女性のエンパワメント」に向けて歩み出したのです。あれから25年が過ぎたいまも、足踏み状態が否めない日本。これまでの歩みを振り返り、残された課題にどう取り組むのかを探ります。

個人的なことは政治的なこと！ 女性たちがつながり支えあって

初めて「ジェンダー」が公式に使われた会議

20代半ば、まだ「自分探し」から抜けきれない私は、研修中のNGOの計らいで北京会議に参加しました。中国政府は、「人権」と「NGO」に対し、厳重な警備を敷きましたが、世界中から集まった女性たちは警備など眼中にありませんでした。「ジェンダー」が初めて公式に使われた会議の熱量に、「歴史が動いている」感覚に見舞われました。

NGO会議では、社会的背景は違っても構造や制度のひずみが、性的な犠牲に表れることは、世界共通の課題であることを学びました。また、当時、性産業の合法化の動きがあったオランダの性産業で働く女性が、「私はコンドームをつけない客を断れるが、生活のために断れない女性がいる」と発言したことが印象に残っています。さらに、高齢の元日本軍「慰安婦」の毅然とした証言が、性別によるあらゆる差別や屈辱を受けてきたあらゆる女性たちに、計り知れない勇気と希望を与えたことは、今も忘れられません。

カンボジアから参加したシッタさんと一緒に（1995年）

根強く刷り込まれた性別役割のステレオタイプ

北京会議から25年、日本では、女性への暴力防止、児童買春・児童ポルノ禁止、男女共同参画の推進に関する法律や性犯罪に関する刑法改正など、法制度は整備されつつあります。しかし、現実には、女性に対する暴力や性犯罪は後を絶たず、声を上げた被害者への誹謗中傷は目に余ります。この現状を許している要因は、一人ひとりに根強く刷り込まれた性別役割のステレオタイプにあると思います。私自身にも「妻」と「母」の固定観念が、深く刷り込まれていることに愕然としました。それも、多少の知識と多様な生き方の女性たちとの出会いのおかげで自身の偏見を解放でき、その快感を知ることができました。

中国政府による厳重な警備が敷かれた会場で。
一人の女性が警備隊の列に割り入ってほほ笑んだ（1995年）

性の尊厳と人権は切り離して語れない

2021年、小学校でSDGs※を入り口に「ジェンダー平等の実現」を学ぶ時代です。今春からは学校の性教育に、「生命（いのち）の安全教育」が加わります。「国際性教育ガイダンス」レベルには全く及びませんが、国は意図しない妊娠や性被害の低年齢化の対策に、性教育の見直しを迫られました。子どもの成長過程で、性の尊厳と人権は切り離すことができず、それを土台にした人間関係を学ぶことで、ジェンダーの視点を自然に身につけることは、性暴力の根絶に不可欠なことです。YWCAのユースによる中高生向けの性教育プログラム「RiseUp! School Visits」はとても楽しみです。

#MeTooの影響力を「リアル」にするためには

「#（ハッシュタグ）運動」によって、北京会議での変化とは比較にならない速さで社会が動きました。SNSは危険性もありますが、個人が発信する「痛み」や「困難」に対し、国や政治を超えて賛同や共感を表明できます。個人の問題を社会の問題として普遍化して捉えることは、ジェンダー平等の実現の一歩です。#MeTooの影響力を「リアル」にするためには、あらゆる女性たちが「個人的なことは政治的なこと」という視点でつながり支え合えるかが鍵です。「政治的なこと」を決定するさまざまな場面に、生きづらさに共感する女性たちの参画を進めていきたいです。その一つとして、静岡・湘南・横浜YWCAでは、「女性のために『イチからわかる政治』セミナー」を開催しています。

横浜YWCA会員　清水祐子

※Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）。国連で決議された「目指すべき世界の姿」のこと

あらゆる女性が生きやすい社会に向けて

ジェンダー平等と女性のエンパワメントを実現しようと宣言した北京会議から25年。私たちの周りはどうだろう。どうすれば実現するのでしょう。そもそも、「ジェンダー平等」と「女性のエンパワメント」とは……。現場で活動する女性たちのメッセージにヒントがありそうです。

「人間らしく生きる権利」が保障されてこそ

「エンパワーするNGO」とYWCAのロゴマーク（8面参照）にありますが、それってどういうことかなと、ときどき考えます。一人ひとりが努力して力をつけて、どうにかするという話ではないと思っています。フルタイムで働いて、結婚して、家事も子育ても介護もして、さらにボランティアもして。そういう女性がエンパワメントされた（輝く?）女性の理想像ということでもないと思います。

北京会議から25年、少しずつ良くなってきていますが、それでも世界は「男性」基準でつくられ続けています。だから女性は女性であるというだけの理由で、壁にぶち当たったりします。そういう世界の構造、社会の仕組みを変えて、本来持っている力を自分の手に取り戻す、そして世界を生きやすい場所に少しでも変えていく、そういうことだと思います。

なかでも基本になるのは、日本国憲法が私たちに保障している、「あらゆる人が生まれながらに持っている、人間が人間らしく生きる権利」です。その権利が保障されないところで、ジェンダーに基づく暴力がなくなったり、性と生殖に関する権利が保障されたり、ジェンダー平等になったりすることはありません。

ジェンダー平等は、いわゆる「できる」女性が男性にとって代われば数字上は達成されますが、目指したいのはそういうことではありません。より困難な状況に置かれた人たちと、SDGsにもあるように「誰ひとり取り残さない」よう、権利を主張していきたいと思います。

横浜YWCA会員　倉戸ミカ

同じ志を持つ横浜YWCAの会員グループ「女らしさはいのちにかかわる（Wの会）」のユースたちと（2019年）

次の世代がより自分らしく生きられるように

北京行動綱領に「女性のエンパワメントのためには、あらゆる女性のあらゆる人権及び基本的自由の完全な実現が不可欠である」とありますが、未だに人権意識が根づいていないと感じます。最近ではSNS等を使って抗議の声を上げる人が増え、連帯しやすくなりました。しかし当事者が権利を主張することはまだ歓迎されません。自己主張をしない「かわいそうな被害者」は守って「もらえる」けれど、社会に変化を求めるような主張をする人は、自己中心的とみなされ、孤立または攻撃されるリスクがあります。個別のイシューが注目されるだけなく、人権の普遍性への理解、そして当事者が我慢するのではなく、人権を保障できていない社会や法制度が変わるべきだという考えが広まる必要があります。

以前働いていた女性のための福祉施設でも、法制度の限界によって利用者が涙を流すことがありました。状況は変えられませんでしたが、あなたの要求はわがままではなく当然の権利の主張であること、しかし残念ながら法制度が不十分なために権利が保障されていないのだと説明し続けました。

大阪YWCAでは今年度、ユースを中心に中高生向けの性教育プログラム「RiseUp! School Visits（RUSV）」を始めました。「次の世代がより自分らしく生きられるように」との思いでユースたちは活動しています。一人で「おかしい！」と言い続けることは難しいですが、自分とみんなと次世代のために、おかしいことにはおかしいと声を上げ連帯していきたいです。

大阪YWCA会員　栗田明日香

中高YWCAの生徒に向けて、大阪YWCAのRUSVメンバーとオンラインで性教育のワークショップを行った（写真提供／公益財団法人大阪YWCA）

進んだ？ まだまだ？ 女性の人権とエンパワメント

「女性の権利は人権」と高らかに宣言された北京会議から四半世紀。ジェンダー平等を推進する法制度は整いつつある日本だが、女性・少女に対する暴力や差別は依然としてなくならない。一方で、平等を求める人々の声が新たな潮流を生み出してもいる。この社会の25年を振り返る。

1995～1999年

95
- **第4回世界女性会議**（北京会議）
  北京宣言及び北京行動綱領採択

96
- 「援助交際」流行語に

99
- **男女共同参画社会基本法施行**
  自治体に男女共同参画局設置
- 避妊薬として**低容量ピル認可**
- **児童買春・児童ポルノ禁止法施行**
  （児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律）
- 沖縄米兵による少女暴行事件

2000～2004年

00
- **ストーカー規制法施行**
  （ストーカー行為等の規制等に関する法律）

01
- **DV防止法施行**
  （配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律）
- 「ドメスティック・バイオレンス（DV）」流行語に

03
- 早稲田大学のサークル「スーパーフリー」メンバー、婦女暴行容疑で逮捕
- 太田誠一（自民党行政改革推進本部長）「集団レイプする人はまだ元気があるからいい。まだ正常に近いんじゃないか」と発言

2005～2009年

06
- 女子高生によるマッサージ等のサービス店「JKリフレ」登場

07
- 柳澤伯夫（厚生労働大臣）女性を「産む機械」と発言
- **改正男女雇用機会均等法施行**
  あらゆる人へのセクハラ禁止、セクハラ防止対策が事業主の措置義務に
- アメリカの市民活動家
  タラナ・バーク「Me Too」を提唱
  性暴力被害者支援の草の根活動のスローガンに

We've come a long way,
but we still have a long way to go.

イラスト／大島史子

2010～2014年

10
ジェンダー平等と女性のエンパワメントのための
国連機関「UN Women」設立

11
緊急避妊薬（アフターピル）認可

13
橋下徹（大阪市長）「従軍慰安婦は必要な制度」であり、旧日本軍による「慰安婦」の強制連行を裏付ける証拠はないと発言

14
「マタハラ」、「リベンジポルノ」、「JKビジネス」流行語に

2015～2019年

15
持続可能な開発目標（SDGs）が国連で採択、目標の一つに「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と少女のエンパワメントを図る」

16
女性活躍推進法施行
（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）

元海兵隊員による沖縄女性暴行殺害事件

民法改正で女性の再婚禁止期間6ヶ月から100日に短縮（男性は規制なし）

「保育園落ちた日本死ね」流行語に

17
トランプ大統領就任に抗議するデモ行進
「ウィメンズ・マーチ」ワシントンで開催

国際女性デーに「ウィメンズ・マーチ東京」開催

110年ぶりに性犯罪に関する刑法大幅改正

伊藤詩織（ジャーナリスト）
実名で「Me Too」の声を上げる

18
候補者男女均等法施行
（政治分野における男女共同参画の推進に関する法律）

杉田水脈（衆議院議員）「LGBTカップルは子どもを作らないので生産性がない」と発言

「#MeToo」流行語に

19
『週刊SPA!』の「ヤレる女子大学生RANKING」記事に抗議の署名運動広がる

性暴力裁判4件の無罪判決への抗議・性暴力を訴える「フラワー・デモ」開催

2020～2021年

20
杉田水脈（衆議院議員）
女性への暴力・性犯罪について
「女性はいくらでも嘘をつける」と発言

21
森喜朗（東京五輪・パラリンピック組織委員会会長）
「女性がたくさん入っている理事会は時間がかかる」と発言

学校で「生命（いのち）の安全教育」と題した性教育が始まる

※流行語は「ユーキャン新語・流行語大賞」受賞・ノミネートされた語
※肩書は当時、敬称略

神戸YWCA100年のあゆみ

しなやかに立ち上がり 道を切り拓いて

神戸YWCAは1920年の創立以来、常に女性の自立と社会参画をサポートしてきました。
何度となく困難にあってもなお、しなやかに立ち上がり、新たに道を切り拓いたのも、女性たちでした。
100周年の節目に、これまでの道のりをたどってみよう。

前夜～1920年代

アメリカから総幹事を招聘 活気に満ちあふれた草創期

神戸YWCAが創立業務を開始した1918年は、第一次世界大戦が終わり、世界中でスペイン風邪が大流行していた年でした。奇しくも、「新型コロナウイルス」が世界的に蔓延している100年後の現在と同じような状況でしょうか。

そのような時代に、日本YWCAは神戸にもYWCAを設立したいと願い、アメリカから総幹事としてヘレン・タッピングを迎えました。そして、日本YWCAの幹事・委員と神戸在住のクリスチャン女性とともに、第1回の創立委員会を開きました。また、日本YWCA総幹事の河井道が来神し、講演会を開いて外部の人々に働きかけ、創立準備を力づけたといいます。

そして1920年、創立委員会は幹部委員の選挙を行い、会長・副会長・会計・書記を選出。3月21日に発会式を迎え、この日を神戸YWCAの創立日と定めたのです。

初めての会館には、長く祈り求めていた下山手通りの西洋館を借りました。この「下山手の会館」では、バザー、イースター、クリスマス、キリスト教講演会などのプログラムや、教育部、宗教部、社交部、そして移民渡航者の講習事業などが活発に行われ、連日多くの人が絶え間なく出入りしていました。神戸YWCAが躍進した時代でした。

神戸YWCA英語科夜間部の修了式に際して英語劇（若草物語）を上演（下山手の会館　1926年）

創立初期の頃の神戸YWCA幹部委員・職員（下山手の会館　1928年）

1930年～1950年代

神戸大空襲で会館焼失 焦土からの再出発

1929年に世界恐慌が始まり、2年後には満州事変が勃発。戦争の足音が聞こえる中で、阪神大水害にも遭いました。やがて太平洋戦争が始まり、45年6月の神戸大空襲で会館は焼失しました。当時のエピソードとして、「たった一人残られた総幹事の防空かばんに会員名簿と会計帳、やかん一つにストーブひとつ、預けていたピアノ2台。これが神戸YWCAの全財産だった。」と語り継がれています。

敗戦と同時に神戸YWCAは再出発しました。総幹事は会員の所在を確認し、復帰を願い奔走しました。47年には、「家庭青年グループ」の若者たちが中心となって戦後初めてのバザーを開催。食糧難のため大変な苦労をして開いたことは、会員にとって大きな勇気づけとなりました。

翌年には、創立当初からの念願であった、会館建築の募金を始めました。財政難に苦しみながらアメリカYWCAからの寄付金をはじめ多くの方の援助を受けて上筒井に土地を買い、51年、木造2階建ての会館が与えられました。会館では料理教室や英語クラス、バイブルクラスなどが開かれましたが、特に料理教室は人気があり、料理室はほとんど空くことがないほど大盛況だったといいます。進駐軍の兵士と結婚した日本女性のために「G.Iブライドスクール」が開かれたのもこの頃です。55年になると、ガイド講習、外国人女性のための日本語教室など、国際色豊かなプログラムが生まれました。

1960～1970年代

今に続く平和活動の原点 日本国憲法を伝えて

創立40周年を迎えた1960年、新たな取り組みが始まりました。記念事業として立ち上げた「神戸YWCA学院生活部」は、義務教育を終えた知的障がいの少女たちのための教育事業で、神戸市が共同作業所を作るまで10年間続きました。

またこの年、「新日米安保条約」批准に反対する運動が全国で起こり、私たちも全

外国人女性のための日本語教室開講（上筒井旧会館 1955年）

国のＹＷＣＡと協力して署名運動に励みました。日本ＹＷＣＡの「人間尊重―平和憲法を守る」方針を受けて憲法を学ぼうという声が高まり、定期的に憲法勉強会を持つようになりました。その後、憲法劇「平和のとりで」の上演や「憲法研究グループ」の誕生、外部講師による学習会の開催など、活発な活動によって会員が増えていきました。こうした運動は、現在の平和活動につながっています。また、全国のＹＷＣＡに先駆けて76年に開催した「原爆絵画展」は、その後20年間続きました。

1980年～1990年代

時代の課題への取り組み 突然の阪神・淡路大震災

1980年代に入ると、会館が老朽化し、また手狭になったことから建て替えを決意。大規模な募金活動が始まり、募金委員たちが東奔西走しました。そして87年10月、鉄筋5階建ての新会館が完成しました。翌年4月、会員活動は「ライフ&ピースセンター」として出発。神戸ＹＷＣＡ学院は「各種学校」から「専修学校」となりました。開校当初は留学生が多く在籍し、日本語教師養成セミナーも講師や学生に恵まれ、「キャフェテリヤ」はフル回転していたといいます。

80年代後半、これから来る高齢化社会は私たち女性にとって深刻な問題であり、何ができるかを考えるために「シルバーエイジ企画会」を立ち上げました。近隣の高齢者の実態調査や学習会などさまざまな取り組みの結果、89年、一人暮らしの高齢者のための給食サービス「おいしん坊クラブ」が発足。参加者は80人を超え、地域の高齢者の楽しい交流の場として定着していきました。

1976年から始まった「原爆絵画展」には大勢の市民が来場した

ところが、95年1月17日未明、予想もしなかった「阪神・淡路大震災」がおきました。会館の土台部分は崩れ、計画の一切が無になり、私たち自身も被災者となったのです。それでも翌日には「神戸ＹＷＣＡ救援センター」を立ち上げ、全国からのボランティアの支援や地域ＹＷＣＡからの応援を受け、特に支援の届かない被災者への救援活動を続けました。

被災地に生きる「当事者」となって活動したことで、神戸ＹＷＣＡは「地域の中で地域の人々と共に生きる」という新たな活動の視点と使命を見出しました。この経験から、ヘルパー養成講座はヘルパー派遣グループ「まごの手」に発展し、２０００年には介護保険指定事業所となりました。

2000年～2020年代

地域の中で地域と共に そして次のフェーズへ

２００１年に現在の二宮町に移転すると同時に、坂口通に「神戸ＹＷＣＡ分室」を開きました。この分室は、地域福祉活動の拠点となっています。08年、留学生の減少に伴い、神戸ＹＷＣＡ学院専門学校を閉じることになりました。それでも日本語教育は継続し、地域の在留外国人に向けたプログラムの実施、「やさしい日本語」の推進など、多文化共生社会のニーズに応えています。12年には公益財団法人へ移行。16年には神戸ＹＷＣＡ保育園が開園しました。

そして今、神戸ＹＷＣＡの活動は次のフェーズへ移ろうとしています。３年前から検討を続けてきた「総合サポートセンター」構想は、これまでの多様な活動、特に専門職やボランティアの働きを有機的につなげ、「三つ拠りの糸」となろうとするものです。この新しいチャレンジをどうぞ応援してください。派手さや立派さはなくとも、今この時、私たちにできることに、これからも精いっぱい取り組んでいけたらと思います。

神戸ＹＷＣＡ
創立１００周年記念事業実行委員会

写真提供／公益財団法人神戸YWCA

エンパワーするNGO
YWCA

ユースの「オンライン・フェミニズムキャンペーン」より

ジェンダー平等ってどういうこと

日韓ユース・カンファレンス2020実行委員会は、オンライン・キャンペーンを展開し、フェミニズムに関する講座の展開や、用語や本、映画の紹介を行いました。その一部を紹介します。

全容をまとめた報告書を公開中！
https://www.ywca.or.jp/pdf/2020/1222.pdf

「ジェンダー平等（gender equality）」と聞くと、女性目線のことばかり考えてしまいます。「女性・女の子」だけに利益がある発想ですか？　答えはNO。

例えば、男の子がいじめられて辛かったとき、「男だから泣くな」「男だから我慢しろ」というフレーズはその子を救うことができないと思うからです。

このような「性への偏見」によって、誰かの大切な気持ちがこぼれ落ちることは、私たちの世代にはもういらない、もう起こらないようにしたい。

『「ジェンダー平等」はすべての人に、平等な権利と機会を与える思想』と提唱していますが、かみ砕くと、『あなたをあなたとして理解し、扱う』と言っていると思います。

あなたは、男でも女でもなく、日本人でもアメリカ人でもない、「ただのあなた」であると。

「あなたらしさ」だけが保障された「ジェンダー平等」は、「自分らしく生きること」を200%応援してくれる社会を創造できるはずです！

「ジェンダー平等」の理解がもっと多くの人に広まったらいいなあ。

日韓ユース・カンファレンス2020実行委員会

ご協力ありがとうございます

賛助費

井口諭　岩崎妙子　遠藤真理
大野綾子　金井淑子　幸田良子
小林喜美子　小林幸子　関根紘子
髙橋貞二郎　田中美紗子　平井祐美子
藤井初子　三股恵美子　三宅文子
村松武司　森川惠美子　安村純子
山田純子　山二起世子
福岡女学院中学校・高等学校
日本基督教団ひばりが丘教会
一般財団法人平塚YWCA

ピースメーカーズ募金（平和を創り出す女性のリーダーシップ養成）

犬伏邦明　内山伸子　遠藤真理
大西しげ子　河内常男　京野洋子
清塚典子　国中正人　古西正子
島田茂　田中倍子　俵恭子
手島千景　仁田裕子　藤井初子
藤谷佐斗子　古川道子　三股恵美子
安村純子　吉田亜希
活水中学校・高等学校
シオン幼稚園
尚絅学院高等学校
学校法人女子学院
西南学院高等学校
学校法人玉川聖学院
東洋英和女学院中学部高等部　母の会
日ノ本学園高等学校
広島女学院中学高等学校
普連土学園中学校・高等学校　宗教委員会
学校法人横浜英和学院
学校法人横浜共立学園
日本キリスト教団扇町教会
日本キリスト教団京都上賀茂教会
日本キリスト教団西千葉教会
日本基督教団聖ヶ丘教会
日本基督教団六角橋教会
弘前YWCA
仙台YWCA
福島YWCA
一般財団法人広島YWCA

災害時支援募金（オリーブの木キャンペーン募金）

犬伏邦明　遠藤真理　木村浩子
国中正人　小林喜美子　小林幸子
島崎真奈美　島田茂　関根紘子
添野ふみ子　髙橋貞二郎　月原綾子
藤井初子　藤谷佐斗子　古谷都紀子
三股恵美子　森川惠美子　安村純子
横田昌三
大阪YWCA大宮保育園
シオン幼稚園
美唄めぐみ幼稚園
日本キリスト教団扇町教会
日本バプテスト連盟山形キリスト教会
仙台YWCA
一般財団法人平塚YWCA
一般財団法人　広島YWCA

（国内外の災害被災者支援）

犬伏邦明　大野綾子
平安女学院中学校・高等学校
玉成保育専門学校

東日本大震災被災者支援募金

犬伏邦明　遠藤真理　大西しげ子
梶原惠理子　木村浩子　熊江雅子
小林喜美子　島田由香　清水嶋洋子
杉野孝子　手島千景　中野キミ子
塗芙紗子　藤井初子　古川道子
古谷都紀子　三股惠美子　安村純子
大阪女学院中学校
シオン幼稚園
捜真女学校 同窓会・PTA
山梨英和中学校・高等学校
学校法人横浜共立学園
大森ルーテル幼稚園
日本キリスト教団千葉教会
日本バプテスト同盟東京平和教会
駒込チャペル
日本基督教団市川三本松教会
日本キリスト教団都島教会
日本福音ルーテル大森教会
0422キリスト教合同プログラム実行委員会
弘前YWCA
一般財団法人呉YWCA
一般財団法人広島YWCA

（カーロサポーターズ募金）

織田光恵　郡恭子　深谷令子
恵泉女学園中学・高等学校 宗教部
一般財団法人平塚YWCA
カーロサポーターズ　62件

（2020年12月16日～2021年2月15日　敬称略）

発行所 公益財団法人日本YWCA　〒101-0062 千代田区神田駿河台1-8-11　東京YWCA会館302号室
Tel. 03・3292・6121　Fax.03・3292・6122　office-japan@ywca.or.jp　www.ywca.or.jp
編集発行人 実生律子／偶数月1日発行
旬な情報発信しています　メルマガ登録　y-net@ywca.or.jp　にお名前を送ってください ／ フェイスブック　www.facebook.com/YWCAJapan
メールにてご意見・ご感想をお寄せください。今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。 office-japan@ywca.or.jp
無断での複写・転用・転載はご遠慮ください。